

松友会だより

編集 松友会
新聞編集委員



心の目が曇ってはい何も見えない

清永 辰生

九月はじめの白露から十月はじめの寒露までが仲秋、陰曆八月十六の夜を十六夜(いざよい)陰曆九月十三夜の月を「仲秋の名月」という。

はればれとした自然の風物に取り囲まれていると、心持もさっぱりとし周囲の人々の反応・言葉の響きまでもが、心地よく感じられるようになってきます。

博物館や美術館、あるいは特別な催事などで人気のあるのが仏像です。仏像をおがむ為にお寺巡りをする人もいます。仏像と向き合っていると毎日の雑事を忘れられます。

「仏像は見る人の心の鏡」ということを聞いたことがあります。同じ仏像を見ても気持ち落ち着いているときは、仏像の表情が穏やかに見え、悲しい気分ときには自分を慰めてくれているように感じます。

「空海」は「衆生の心清浄(しようじょう)なるときは、すなわち仏を見、もし心不浄なるときは、すなわち仏を見ず」といっています。

衆生は生きとし生けるものすべてをあらわすことありますが、この場合は日々の暮らしを営む私たち人間のこと、つまり「澄んだ心ならば仏を感じられるが、邪心があると仏のありがたさがわからない」という意味。

たしかに欲望に流されて日々を送っているような人は、心の目が曇っていて、たとえ国宝級の仏像を目にしてもその良さや魅力を素直に心に受け止めるとは思えません。つまらない味気ないと感じてしまうのではないのでしょうか。

さて心の目といえど誰でも曇ることはあります。心配ごとがあつたり体調がすぐれなかつたりするときは、散歩に出かけても目に見えてはいるはずの花や鳥などを美しいとも可愛いとも思えませんか。おそらく春から夏、夏から秋へなどの季節の移ろいも染められないでしょう。

旅に出てせつかく壮大な風景に出会っても、心から感動出来ずくすんで見えるかも知れません。心を痛めていたり体の疲れがなかなかとれない時は、思いきった休養が必要です。心や体が「休ませてくれ」と訴えているのですから、一日でも半日でも休んでみましょう。

心も体も整い自分らしさを取り戻せれば、おのずから明鏡止水(めいけいすいすい)の心境になり、美しい景色、写真や絵画などを見たとき「なんて素晴らしい」と思えるはずで、「存在しているものを見てどう感じるか」それは自分の心の状態次第です。

暮らしの中の仏教語

「成 仏」

高齢でこの世を去った人に対して、「天寿を全うして成仏された」と表現することがあります。「亡くなって仏になった」のであれば、本人も遺族も納得できるのでしょう。

ただ仏教では「成仏」死とはかぎりません。お釈迦様が菩提樹のもとで悟りを開いて仏様になったのも成仏ですし、お釈迦様でなくても悟りを開いて仏様になることも成仏と呼ばれます。

「死ぬと仏になる」と生きている人が考えるのは、故人に対する優しさのあらわれなのかもしれません。

九月度の主たる行事のご案内

連日の猛暑、コロナが第五類に移行しても全国的に収束どころかまだまだ増加傾向にあるという状況です。皆様これまで以上に健康管理に気をつけて元気に過ごしましょう。

☆月例会 九月九日(土)

午後一時より開催します。

内容は 野口知子インスタクター様によります楽しい催しを予定しています。ご期待ください!

☆十月の月例会は十月十四日(土)

午後一時より開催します。内容は三味線伴奏です。お楽しみに!

☆九月誕生月の皆さんです。

紙面にてお祝い申し上げます。

博 義 子 昭子
一之瀬 統 成 節 昭子
梅田 アケミ 成 子 昭子
総谷 アケミ 成 子 昭子
津川 成 子 昭子
道田 成 子 昭子
以上7名
(敬称略)

【伝言板】

☆再生資源回収

九月十四日(木)宝塚 川西地区

九月二十六日(火)川西地区

皆さん、いつもご協力をいただき有難うございます。引き続きよろしくお願い致します。

※松友会だよりの原稿を編集者一同お待ちしております。

短歌、俳句、川柳、思い出話など何でも結構です。お寄せください。

お近くの班長、役員へご連絡いただければ嬉しく思います。

地域の皆様のご協力有難うございます。今後も再生資源の回収にご協力お願い致します。

月別再生資源回収成果	
令和5年7月分	
新聞紙	1,000 kg
雑誌	230 kg
布類	100 kg
段ボール	240 kg
合計	1,570 kg
回収奨励金 (@ 円)	円

ご協力ありがとうございました。

9月 行事予定

(予定表は変更される場合があります)

日	曜	行事	時間
2	土	カラオケ	13:00~16:00
5	火	健康体操	10:00~11:30
9	土	月例会	13:00~15:00
12	火	麻雀	13:00~16:00
13	水	まつがおかサロン	13:00~15:00
14	木	再生資源回収(宝塚・川西)	~8:30頃
16	土	カラオケ	13:00~16:00
19	火	健康体操	10:00~11:30
20	水	三味線伴奏	13:30~14:30
23	土	まっぼっくり	10:00~11:30
24	日	編集会議	10:30~11:30
26	火	再生資源回収	~11:00頃
26	火	麻雀	13:00~16:00

オーストラリア人の味覚

和泉 清

初めてこの国を訪れてから、もうすぐ70年になる。10年前に「オーストラリアと私の60年」と題した記事を現地の邦字新聞に投稿した拙文を読み返してみた。その一部を紹介すると、曰く、当初、アングロサクソン系の国民の食生活はシンプルで味付けは塩と胡椒、時にトマトソースを加えるのがほとんどであり、外食はホテルか各種社交クラブ以外は、中国料理店か、軽食しか提供しないミルクバーにほぼ限定されていた。ところが、1959年と2000年にそれぞれメルボルンとシドニーで五輪を開催して以来、いわゆる国際化が進んだ今日、大都市での一流フランス、イタリア、日本料理他各種エスニック料理店の進出に、半世紀の移り変わりを見るとある。

1959年、私が最初に世話になったホームステイ先はスコットランドから移住の中年夫婦で、初めての外国に戸惑う私を親切に受け入れてくれた恩人であった。ところが、提供された食事の単調さにはすくなく辟易したものである。何しろ、朝食は毎食がベーコンと目玉焼き、夕食は、ローストビーフに生野菜の塩、コショウ付きの連日で、一週間もすれば、さすがの私も音を上げてしまった。ある日、同業の他社友人から、ベーコンエッグのことをこちらでは「365」と言うのだと聞かされ、真に受けた私に「今のはジョークだよ」と笑われたのを思い出す。
わが息子が小学生のころ、父親が牧師である彼の友人が我が家に一泊した。翌朝振舞われたオムレットに感激してこの少年は、こんなにおいしい朝食は初めてだと述懐していた。

人間の食感覚はそれぞれの離乳食時代に養われるといわれる。アングロサクソン人の味覚に同情する人の多いのも事実だが、当人たちはそれをなんとも思わず、代り映えのしない食事に結構満足しているようである。

かつてケンブリッジ大で教鞭をとった数学者で且、作家でもある藤原正彦さんによれば、料理のおいしさは、その国のスーパーの魚売り場を見ればわかるそうである。
肉売り場は牛、豚、鶏が主体なのはほぼ万国共通だが魚売り場は、日本、フランス、イタリア、スペインとイギリスのそれとは比較にならぬ差があると。イギリスの売り場で見ると、精々、たら、カレイ、鮭、マグロ、サバ位なのに対し、前者の国々では、多種多様な魚介類が所狭ましと並べられており、各々の魚にふさわしい料理法や調味料が工夫されているので、魚が多様なほど味覚が発達している国といえるそうである。イギリス人の舌は皆、隣のフランスにもっていかれてしまったとか、イギリスの、テーブルには良い食べ物はない、良いテーブルマナーはあるけれどなどと皮肉られるのだと、藤原さんは書いています。



ゆく夏を名残り惜しむ

津田 昭彦

待ち望んでいた梅雨がやつと明けた七月の半ばになって、期待はずれの猛暑となり京都の祇園祭、大阪の天神祭りなど、いろいろな行事が催され、松が丘では七月二十三日から二十九日までと、八月二十日から二十六日まで、それぞれの一週間早朝ラジオ体操が六時三十分からNHKの放送に合わせて行われました。

公園の桜の木の枝から降り注ぐようなあぶら蟬の合唱のもと、年齢を問わず幼児から中学生が大勢早起きをして参加し、二日目、三日目と日を追うごとに参加される子供たちが増えるのに意を強くしました。
例年になく高温の猛暑日は、八月になっても衰えることなく続きましたが、令和元年以来四年ぶりの松が丘の地藏盆と夏祭りがにぎやかに催され、嘗ての松が丘の夏を楽しむことができました。

赤とんぼがかぜに舞い、ツクツクボウシのなき声が降り注ぐ秋九月です。暑かった夏の体力の衰えを癒し、元気にさわやかな食欲の秋を迎えるようにしましょう。
日に映える 児等の頭上に 蝉時雨
覇を競う 球児の額に 玉の汗
向日葵の 俯(うつむ) くほどの 暑さかな



撮影：覚正 健嗣

うるおい

黒田 千代子

「水」はどんなに複雑なかたちの器に注いでも、そのかたちに合わせて自由自在に姿を変えて器を満たしていきます。
私たちは学校や職場など家庭以外の環境に身を置くようになると、そこでさまざまな人とかかわりを持つようになります。十人の人間なら十通りの性格があります。すべての人たちが自分の型にはめようとしても、思い通りにならず人間関係に疲れてしまうでしょう。

一人ひとりの性格を認め水のように寄り添ってまわりの人の心を満たすことで、うるおいのある豊かな関係がはじまるのではないのでしょうか。

川柳 (六首)

「先寝るぞ」 「安らかにね」と返す妻
お迎えは いつでも良いが 今日嫌
金貯めて 使う頃には 寝たつきり
骨が減り 知人も減るが 口減らず
症状を 言えば言うほど 薬増え
暑いので リモコン入れると テレビつく
(作者不明)

編集後記

さあ
暑さのなかにも秋の気配を感じはじめた今日この頃
皆様と元気で九月の月例会「ストレッチ及びパントマイム」を始め後半の松友会を盛り上げていきましょう。